



おかげさまで第一生命は、2012年9月に
創立110周年を迎えます。

2012年6月26日

第一生命創立110周年記念特別企画

マッカーサー記念室を期間限定で一般公開！

第一生命保険株式会社(社長 渡邊 光一郎)は、2012年9月に創立110周年を迎えます。創立110周年記念特別企画として、また当社が本社を置く「第一生命館」(現DNタワー21)が2012年7月に GHQ による接收解除・返還より60年の節目の年を迎えるにあたり、現在非公開としているマッカーサー記念室を以下のとおり期間限定で一般公開します。

＜マッカーサー記念室 期間限定一般公開＞

- ◆日程 : 2012年7月17日(火)～7月22日(日)
- ◆時間 : 10時30分～15時30分
- ※ 1日200名限定

今回の一般公開においては、マッカーサー記念室を公開するほか、終戦直後の日本をめぐるさまざまな動きや当社の110年の歩み・取組み・社屋の変遷等についての展示物をご覧ください。歴史の息吹を身近に感じることができる貴重な機会です。ご来場をお待ちしています。

なお、会場のキャパシティに加え、貴重な史料を当時のまま保存・保護するという観点から、見学は1日200名限定とします。また、受付時にご芳名をいただくとともに、お客さまの安全確保のために手荷物の確認をさせていただきますので、ご了承ください。

当社は1902年の創業以来受け継いできたお客さま第一主義をしっかりと守り、これからも持続的な成長を目指してより一層努力してまいります。

＜マッカーサー記念室の歴史＞

当社の本社ビルである「第一生命館」は、終戦直後の1945年9月に GHQ(連合軍総司令部)に接收されました。「第一生命館」の接收にあたって GHQ から出された命令は「72時間以内に立ち退くこと、書類以外は一切の備品の持ち出しは禁止」というものでした。移転先や作業員の確保など移転作業は困難を極めましたが、締切りの3時間前に GHQ に明け渡すことができました。このとき、当社が本社を移したのが東京都中央区京橋にある「第一相互館」です。以降、「第一相互館」は二度の建替を経て、当社創立110周年を迎える本年の7月に「相互館 ^{いちいちまる} 110タワー」として生まれかわります。この三代目「相互館」は帝都のランドマークであった初代の「第一相互館」を彷彿させる尖塔のあるレトロな外観や、最先端のテクノロジーを駆使して免震構造を導入するなど安全性を兼ね備えていることなどに特徴があります。110(いちいちまる)には当社110周年の意味とともに、次の110年を意味し、まさに世紀を超える思いが込められています。

GHQ に接收された「第一生命館」は、現在の日本国憲法の原型である GHQ 草案が作られるなど、戦後の日本をかたちづくるさまざまな舞台となりました。

このとき、マッカーサー元帥の執務室となったのが6階の社長室です。これが今回一般公開するマッカーサー記念室です。マッカーサー元帥はたいへん几帳面で、何事も即断即決するため、引き出しのない机を愛用したと言われています。また、たいへんヨットが好きで、英国人画家オールドリッジにより描かれたヨットの絵を2枚部屋に飾りました。

当社はこの部屋を当時のたたずまいをそのまま残し歴史を語りつづける部屋として、机や椅子とともに、当時のまま保存しています。

その後、サンフランシスコ平和条約が発効し、総司令部が市ヶ谷に移転した1952年の7月7日に、「第一生命館」は6年10か月にわたる接收が解除されて返還されました。当社は本社を「第一相互館」から「第一生命館」に移転し、同年9月1日に業務を開始しました。

<マッカーサー記念室>

所在 〒100-8411 東京都千代田区有楽町1-13-1 DNタワー21
第一生命本館1F(こちらに受付を設けております)

お問い合わせ先 第一生命保険株式会社

TEL 03-3216-1211(代) 平日 9:00~17:00



<アクセス>

■ 地図



■ JR有楽町駅をご利用の場合
中央西口より、徒歩3分。中央西口を出て、皇居に向かって直進。お堀に面して立っている白いビルです。

■ 地下鉄をご利用の場合
有楽町線有楽町駅・都営三田線日比谷駅のB2出口を出て正面のビルです。